

問1 ウ 問2 イ 問3 イ 問4 オ 問5 イ

問6

温室効果ガス排出量の増加により、地球温暖化を防ぐための目標達成が危うい。世界ではパリ協定以降に多くの訴訟が提起されている。オランダの裁判所や欧州人権裁判所ではCO₂排出による気候変動によって人権が脅かされていることを認める判決が出され、企業の見せかけだけの対策の違法性を問う裁判も行われている。日本でも、同様の判決を下すことは可能だが、日本の裁判所は気候変動防止に寄与することに消極的だとされている。

問7

各選択肢のメリット・デメリットとして、下記の例に挙げられるような点を示しながら、両選択肢を比較し、どちらがより良い選択肢と考えるか、自身の意見が述べられているか。

選択肢(a)のメリット・デメリットの例

メリット

- ・国民の意見を反映させることができる（民主的）
- ・様々な利害対立を調整することができる
- ・専門家の様々な意見を取り入れることができる

デメリット

- ・市民は選挙や政治・社会活動を通してしか影響力を行使できない
- ・気候変動対策で利益を得る将来世代が代表されづらい

選択肢(b)のメリット、デメリットの例

メリット

- ・直接的に気候変動対策に影響を及ぼすことができる
- ・国会では代表されづらい将来世代の利益を代弁しやすい

デメリット

- ・ 民主的ではない
- ・ 日本の裁判所は、人権問題や政治問題に立ち入ることを避ける傾向
- ・ 訴訟を提起するのはハードルが高い
- ・ 時間がかかる
- ・ 細かい政策形成はできない